

2026年3月31日

各 位

SBIホールディングス株式会社  
東急不動産ホールディングス株式会社

## 東急不動産ホールディングス株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）と東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「東急不動産ホールディングス」）は、2026年3月31日付で資本業務提携（以下「本資本業務提携」）契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

本資本業務提携により、当社グループ（以下「SBIグループ」）が組成するコンテンツファンドや事業等へ、東急不動産ホールディングスグループが出資を行い、当社は東急不動産ホールディングスの株式の取得を通じた資本関係を強化することで、エンタテインメント・メディア・コンテンツ事業を中心にさらなる事業拡大を目指してまいります。



×



東急不動産ホールディングス

### 1. 本資本業務提携の背景と目的

近年、日本では国内コンテンツ産業において官民一体の推進体制を構築し、海外市場へ20兆円規模の輸出機会を創出することを目指しており、市場規模の拡大期待が高まってきております。

SBIグループは国内最高峰の質・量を誇る金融データと、国内外で8,000万を超える顧客基盤、世界26か国・地域に及ぶ多様な海外事業体を有し、銀行・証券・保険・資産運用からデジタルアセットまでを横断したサービスラインナップを戦略的に融合し得る独自の強みを持ちます。当社は傘下にグループのメディア・エンタテインメント・マーケティング関連事業を統括する中核会社としてSBIネオメディアホールディングス株式会社を設立した後、IPプロダクション、タレントエージェンシー、イベント企画・運営、SNSマーケティングなど様々なメディア機能を有する会社との

資本業務提携や買収を通じ、金融・IT・メディアを融合させ、情報の流通からコンテンツへの投融資、経済圏の創出までを一気通貫で実現する「SBIネオメディア生態系」を構築してきました。

東急不動産ホールディングスグループは、昨年5月に発表した「中期経営計画2030」の重点テーマの1つに「広域渋谷圏戦略の推進」を掲げ、同社グループの施設等において、様々な体験型コンテンツ・イベントを開催するなど、都市メディア、デジタルを活用し、広域渋谷圏を中心としてエリア各地の魅力を高め、国際競争力のある街づくりを推進していくことに注力しています。

\*広域渋谷圏：東急グループが渋谷まちづくり戦略において定める、渋谷駅を中心とした半径約2.5km圏内のエリア

本資本業務提携により、両社の経営リソースを活用した戦略的な連携を図ることで、成長産業であるコンテンツ領域を起点に、広域渋谷圏を中心としたエリアの価値最大化と、コンテンツが有する魅力を最大限に引き出し、両社グループの持続的成長、企業価値向上を実現していきます。

## 2. 本資本業務提携の内容

### (1) 業務提携の内容

本資本業務提携に基づき、両社は主に以下の取り組みを推進していきます。

#### ① 発信力の高い広域渋谷圏における魅力的なコンテンツの創造

「SBIネオメディア生態系」をはじめとしたSBIグループが有するメディア機能を活用し、広域渋谷圏を舞台に魅力的なコンテンツを創造し、エリアの高い発信力や東急不動産ホールディングスグループが有する都市メディア等を通じて、渋谷から世界へ展開していきます。

#### ② コンテンツ関連企業等の誘致・集約/エコシステムの形成

SBIグループと東急不動産ホールディングスグループが連携し、広域渋谷圏にコンテンツ関連企業等を誘致・集約し、当該エリアに集積するスタートアップや既存産業等の共創を促進するエコシステム形成を目指します。

#### ③ コンテンツとアセットを組み合わせた新たなエクスペリエンスの創出

SBIグループ及び投資先企業が有するIP（知的財産）コンテンツやメディアプロモーション機能等と、東急不動産ホールディングスグループが関与する全国の商業施設、リゾート等のアセットを組み合わせた新たなエクスペリエンスを創出し、コンテンツや当該エリアの価値最大化を目指します。

また、上記の取り組みを推進するため、本資本業務提携に基づき、SBIグループが新設する有力IP・メディア・ネオメディア生態系への貢献が期待される先端技術に投資を行う1,000億円規模のコンテンツファンドに対して、東急不動産ホールディングスグループが計50億円の出資を行う予定です。さらに、コンテンツファンド若しくは両社グループが協業する事業への50億円の追加的な出資（上記のコンテンツファンドへの出資と合わせて計100億円）が行われる可能性があります。詳細につきましては、現時点では未定です。

## (2) 資本提携の内容

当社は、2026年12月末日までの期間において、金融商品取引所における市場内取引の方法により、東急不動産ホールディングスの普通株式500万株を取得する予定です。

また、その後、本資本業務提携の推進度合い等に応じ、同社普通株式について、追加で最大500万株を取得し、合計で最大1,000万株（2025年12月31日時点の発行済株式総数に対する割合1.39%）を取得する可能性があります。

なお、当該追加取得に関する取得時期および取得方法等の詳細につきましては、現時点では未定です。

<東急不動産ホールディングスの概要>

- 会社名 : 東急不動産ホールディングス株式会社  
設立 : 2013年10月1日  
代表者 : 代表取締役社長 西川 弘典  
(西川弘典は、2026年4月1日付で代表取締役会長に就任予定。同日付で星野浩明が代表取締役社長に就任予定。)  
本社所在地 : 東京都渋谷区道玄坂一丁目 21-1  
事業内容 : 都市開発事業、戦略投資事業、管理運営事業、不動産流通事業  
東急不動産ホールディングスグループは、持株会社である東急不動産ホールディングスのもと、主要 6 社を中心に多様な事業を展開しています。  
[2026年度主要 6 社]  
東急不動産、東急コミュニティー、東急リバブル、東急住宅リース、学生情報センター、リエネ・エナジー  
2025年5月には「中期経営計画 2030」を発表。「広域渋谷圏戦略の推進」「GX ビジネスモデルの確立」「グローバルビジネスの拡大」の 3 つの重点テーマに取り組み、強固で独自性のある事業ポートフォリオの構築を目指しています。  
ホームページ : <https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp>

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先 :

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126